

ことばたんてい かくされた おたから

作 平田昌広
絵 平田景



新日本出版社

「なるほど。これが のこされていた
ちようせんじょうですね。」
じょしゆの ひらがにやが さしだした
ちようせんじょうを みて、
ことばたんていは あたまを
かきました。

きらきら かがやく おたからは
おれが かくしたからな！
ありかを しりたかったら
ことばたんていを よべ。
これは ちようせんじょうだ。

モジ・イジルの てした
カクレンボーイ





「やんと！ ぶらんこに らんちゃん。
かだんに だんくんが いるにや！
ほかにも みつつの ばしよに
べつのことばが かくされてるにや。
みんな わかるかにや？」



ことばたんていは あたまを
かきながら かんがえています。
「ことばの なかに ことばを かくす。
……それは ほうせきは
いったい どこに かくしたのでしょうか？
うーん。まだ てがかりが ひつようですね。」



「ぼうしが かくされたのは
しょうぼうしやに しょうぼうしよ。
カクレンボーイ、かくした ことばを
もとに もどしなさい!」
ことばたんでい は どうとう
カクレンボーイを みつけました。
「よく きたな ことばたんでい。
おれが かくした ことばを
みつけれれるか しょうぶしろ!」
「もちろん、のぞむ ところですよ!」
ことばたんでい が かまえると、
カクレンボーイが さげびました。